

理学療法関連レッスン公開中 185レッスン(セミナー形式)

大分類	中分類	小分類	レッスン名(セミナー形式)	所属・役職	講師名	公開月	
理学療法関連レッスン(セミナー形式)	臨床医学	整形外科	急性骨骨折とSLAC wrist	兵庫医療大学 教授 兵庫医科大学 整形外科 医師	藤岡宏幸先生	2014年12月	
			小児上肢骨骨折と外傷骨折	神田医科大学 センター学術			
			脳神経外科とセネリア骨折	京都府立医科大学 医師			
	基礎研究	基礎研究	理学療法の基礎研究Ⅰ(1)	神奈川県立保健福祉大学 教授 博士(学術)	菅原一先生	2015年1月	
			理学療法の基礎研究Ⅱ(1)				
			理学療法の基礎研究Ⅲ(2)				
		評価・測定	表面筋電位の基礎と臨床(1)	日本リハビリテーション技術教育研究機構 理事長 理学療法士	下野俊哉先生	2014年11月	
			表面筋電位の基礎と臨床(2)				
			表面筋電位の基礎と臨床(4)				
		基礎分野	解剖学・生理学	船診(船診で診るもの)Ⅰ(1)	兵庫医療大学 教授 博士(医学)	川口浩太郎先生	2015年10月
				船診(船診で診るもの)Ⅰ(2)			
				船診(船診で診るもの)Ⅰ(3)			
				船診(船診で診るもの)Ⅰ(4)			
				船診(船診で診るもの)Ⅰ(5)			
				船診(船診で診るもの)Ⅰ(6)			
		その他	立ちくらみ 起立性低血圧	岐阜医科大学 教授 保健科学部	田中邦彦先生	2016年10月	
			立ちくらみ 前庭機能検査				
			Basic Life Support(一次救命処置) CPR心肺蘇生法、人工呼吸	大阪府立リハビリテーションセンター	宮崎真平先生	2017年4月	
脳神経分野	脳機能基礎	脳整理学(生理学)入門編 一般制・生理学の整理(1)	四條学園大学 准教授	南夜勇作先生	2015年9月		
		脳整理学(生理学)入門編 一般制・生理学の整理(2)					
		脳整理学(生理学)入門編 一般制・生理学の整理(3)					
		脳整理学(生理学)入門編 一般制・生理学の整理(4)					
		脳卒中片麻痺に対する理学療法Ⅰ 脳卒中片麻痺とは	城西国際大学	谷内幸喜先生	2017年11月		
		脳卒中片麻痺に対する理学療法Ⅱ 中枢神経システムとその評価					
		脳卒中片麻痺に対する理学療法Ⅲ 中枢神経システムに基づくアプローチ理論					
		脳卒中片麻痺に対する理学療法Ⅳ「座位の土台」について					
		脳卒中片麻痺に対する理学療法Ⅴ「座位」アプローチの視点を取り合わせるための視点					
		脳卒中片麻痺に対する理学療法Ⅵ「座位」アプローチの視点を変えるための視点					
	脳卒中	脳卒中片麻痺に対する理学療法Ⅶ「歩行」アプローチの視点					
		脳卒中片麻痺に対する理学療法Ⅷ「歩行」アプローチの視点					
		脳卒中片麻痺に対する理学療法Ⅸ「歩行」アプローチの視点					
		脳卒中片麻痺に対する理学療法Ⅹ「歩行」アプローチの視点					
	神経筋障害	脳卒中片麻痺に対する理学療法Ⅺ「歩行」アプローチの視点	大阪府立リハビリテーションセンター	森峯一先生	2018年4月		
		脳卒中片麻痺に対する理学療法Ⅻ「歩行」アプローチの視点					
		脳卒中片麻痺に対する理学療法Ⅼ「歩行」アプローチの視点					
		脳卒中片麻痺に対する理学療法Ⅽ「歩行」アプローチの視点					
ニューロバイオフィードバック	脳卒中片麻痺に対する理学療法Ⅾ「歩行」アプローチの視点	医療法人社団 浅川会 脳神経外科病院	山本裕之先生	2017年12月			
	脳卒中片麻痺に対する理学療法Ⅿ「歩行」アプローチの視点						
	脳卒中片麻痺に対する理学療法ⅰ「歩行」アプローチの視点						
	脳卒中片麻痺に対する理学療法ⅱ「歩行」アプローチの視点						
臨床心理	ストレス・メンタルヘルス	神経科学的知見を応用した脳卒中リハビリテーションの実践(1)	摂南総合病院 認知神経リハビリテーションセンター 科長	奥井裕之先生	2014年9月		
		神経科学的知見を応用した脳卒中リハビリテーションの実践(2)					
		神経科学的知見を応用した脳卒中リハビリテーションの実践(3)	武庫川女子大学 教授	松尾善美先生	2015年7月		
運動器分野	運動器	インタラクティブ・フィードバック入門(1)	奈良学園大学 教授	辻下弘弘先生	2014年9月		
		インタラクティブ・フィードバック入門(2)					
		インタラクティブ・フィードバック入門(3)					
		バイオフィードバックの臨床状況と日本の可能性-バイオフィードバックとは	ナチュラ心療内科クリニック	竹林直紀先生	2016年4月		
		バイオフィードバックの臨床状況と日本の可能性-米国におけるBF					
		バイオフィードバックの臨床状況と日本の可能性-BFの応用					
	運動器	歩行のバイオメカニクス(1)	神奈川県立保健福祉大学 教授 博士(保健医療学)	石井慎一郎先生	2014年9月		
		歩行のバイオメカニクス(2)					
		歩行のバイオメカニクス(3)					
		歩行のバイオメカニクス(4)					
		リアライズコンセプトの理論と徒手療法(1)	広島国際大学 教授 博士(学術)	瀧田和芳先生	2015年2月		
		リアライズコンセプトの理論と徒手療法(2)	株式会社GLAB 代表取締役				
	運動器	動作分析による評価・治療 その限界 ~特に運動器疾患から動作分析とは-動作分析をしてみよう(症例3例)	森ノ宮医療大学 教授 理学療法学科	河村俊幸先生	2016年9月		
		動作分析による評価・治療 その限界 ~特に運動器疾患から動作分析をしてみよう(症例4例)					
		動作分析による評価・治療 その限界 ~特に運動器疾患から動作分析をしてみよう(症例5例)					
		動作分析による評価・治療 その限界 ~特に運動器疾患から動作分析をしてみよう(症例6例)					
		運動療法の基礎知識 可動域制限に対する運動療法	兵庫医療大学 教授 リハビリテーション学部 理学療法学科	宮本俊朗先生	2016年11月		
		運動療法の基礎知識 筋力低下に対する運動療法					
運動器	運動療法の基礎知識 持久力低下に対する運動療法・運動療法の可能性	大阪府立リハビリテーションセンター	原田宏隆先生	2017年10月			
	肩関節疾患に対するリハビリテーション 肩関節・肩甲骨・脊柱の構造と機能	大阪府立リハビリテーションセンター					
	肩関節疾患に対するリハビリテーション 症例提示						
	足部の機能解剖と評価	株式会社 互恵会大阪府立病院 リハビリテーションセンター	佐伯訓明先生	2017年8月			
	変形性膝関節症に対する理学療法 診断学的リーズニング	大阪府立リハビリテーションセンター	山田 英司先生	2018年3月			
	変形性膝関節症に対する理学療法 保存的理学療法のエビデンス						
スポーツ理学療法	スポーツ外傷の理学療法(1)	甲南女子大学 教授	伊藤浩充先生	2014年9月			
	スポーツ外傷の理学療法(2)						
	スポーツ外傷の理学療法(3)						
	スポーツ外傷の理学療法(4)						
疼痛管理	痛み・最新の知見と臨床応用(1)	甲南女子大学 准教授	西上智彦先生	2014年10月			
	痛み・最新の知見と臨床応用(2)						
	痛み・最新の知見と臨床応用(3)						
	痛み・最新の知見と臨床応用(4)						
内科障害分野	循環器(心疾患)	服用薬物と管理薬(1)	甲南女子大学 講師 医学博士	芝美実子先生	2014年9月		
		服用薬物と管理薬(2)					
		服用薬物と管理薬(3)					
		心臓リハビリテーション(1)	武庫川女子大学 教授	松尾善美先生	2015年7月		
		心臓リハビリテーション(2)					
		心臓リハビリテーション(3)					
	呼吸器	内臓障害理学療法評価学 心不全の医学的情報	兵庫医療大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 講師	森沢知之先生	2016年7月		
		内臓障害理学療法評価学 心不全の医学的情報					
		内臓障害理学療法評価学 医学的情報・心電図・不整脈について					
		内臓障害理学療法評価学 心不全の身体所見					
		ICUにおける臨床 ~循環器疾患を中心に~	独立行政法人 労働者健康安全機構大阪府労働院 中央リハビリテーション部	西村真人先生	2017年8月		
		慢性閉塞性肺疾患に対する理学療法(1)	北野病院 リハビリテーション 副センター長 博士(リハビリテーション科学)	本田薫先生	2015年5月		
呼吸器	慢性閉塞性肺疾患に対する理学療法(2)						
	慢性閉塞性肺疾患に対する理学療法(3)	森ノ宮医療大学 教授	金尾順郎先生				
	慢性閉塞性肺疾患に対する理学療法(4)						
	外科手術前後の呼吸理学療法(1)	兵庫医療大学 教授 医学博士	玉木彰先生	2015年6月			
	慢性閉塞性肺疾患(COPD)に対する呼吸リハビリテーション(1)						
	慢性閉塞性肺疾患(COPD)に対する呼吸リハビリテーション(2)						
呼吸器	呼吸ケアにおける呼吸リハビリテーションの役割(1)	結核予防会神戸学院 呼吸ケアリハビリテーション 部長	千住秀明先生	2016年9月			
	呼吸ケアにおける呼吸リハビリテーションの役割(2)						
	呼吸ケアにおける呼吸リハビリテーションの役割(3)						
	理学療法の臨床 内臓障害の理学療法 呼吸理学療法(臨床編)	大阪府立リハビリテーションセンター	石田文香先生	2018年2月			
	間質性肺炎の呼吸リハビリテーション 慢性閉塞性肺疾患の呼吸リハビリテーション						
	遠新患者に対する理学療法 遠新患者を当てる際に知っておくべき予備知識	いぶきクリニック リハビリテーション科	望月寿幸先生	2018年7月			
生活環境支援分野	地域理学療法	高齢者のケアを考える ケアの本来を考えると	神戸学院大学 教授 リハビリテーション学部 理学療法学科	橋本修彦先生	2016年12月		
		高齢者のケアを考える ケアの本来を考えると					
		高齢者のケアを考える ケアの本来を考えると					
	介護予防	高齢者のフレイルと予防戦略 フレイルとサルコペニア	兵庫医療大学 教授 リハビリテーション学部	永井俊達先生	2017年2月		
		高齢者のフレイルと予防戦略 フレイルと転倒・フレイルに対する介入					
		予防理学療法～理論と実践を用いた介護予防の紹介～ 予防理学療法について	一般社団法人Mahana 代表理事	笹野弘義先生	2018年9月		
ロコモティブシンドローム	ロコモティブシンドローム 一般法士の関わり(1)	宮崎大学 医学部整形外科 リハビリテーション科 教授	松尾俊男先生	2018年9月			
	ロコモティブシンドローム 一般法士の関わり(2)						
	ロコモティブシンドローム 一般法士の関わり(3)						
物理療法分野	物理療法	電気刺激療法(1)	兵庫医療大学 准教授 博士(保健学)	坂口顕先生	2015年9月		
		電気刺激療法(2)					
		電気刺激療法(3)					
		電気刺激療法(4)					

理学療法関連レッスン公開中 185レッスン(セミナー形式)

大分類	中分類	小分類	レッスン名(セミナー形式)	所属・役職	講師名	公開月
産業理学療法分野	産業理学療法分野	産業理学療法入門編	集団指導と講習会のためのプレゼン方法の進め方(1)	一般社団法人 産業理学療法研究会 副会長	淺田史成先生	2014年9月
			集団指導と講習会のためのプレゼン方法の進め方(2)			
		腰痛予防編	産業理学療法(腰痛編)(1)	一般社団法人 産業理学療法研究会 副会長	淺田史成先生	2015年3月
			産業理学療法(腰痛編)(2)			
			産業理学療法(腰痛編)(3)			
			産業理学療法(腰痛編)(4)			
		高齢者対策	産業理学療法～企業における高齢者対策～(1)	一般社団法人 産業理学療法研究会 会長	高野賢一郎先生	2015年4月
			産業理学療法～企業における高齢者対策～(2)			
		メンタルヘルス対策	産業保健分野におけるメンタルヘルス対策	一般社団法人 産業理学療法研究会	川又章代先生	2015年2月
		メタボリックシンドローム	メタボリックシンドロームに対する産業理学療法(1)	一般社団法人 産業理学療法研究会	佐藤友則先生	2015年12月
			メタボリックシンドロームに対する産業理学療法(2)			
		産業保健分野で活躍する理学療法士	産業保健分野で活躍する理学療法士		山内義博先生 下野弘生先生 堀田裕子先生	2015年12月
			産業保健分野で活躍する理学療法士			
		VDT作業を原因とする肩こりの予防	VDT作業を原因とする 肩こりの予防	一般社団法人 産業理学療法研究会 会長	高野賢一郎先生	2016年9月
			VDT作業を原因とする 肩こりの予防			
労働衛生の3管理	労働衛生の3管理 作業環境管理の概要を理解・健康管理の概要を理解	一般社団法人 産業理学療法研究会	谷澤直先生	2016年6月		
	労働衛生の3管理 作業環境管理の概要を理解・作業管理の概要を理解					
教育・管理	教育・管理	地域包括ケアシステムとセラピストの管理職としての組織マネジメント(1)	社会高齢法人社団 沼津会 沼津病院 経営管理課 リハビリテーション部 副部長	森田裕治先生	2015年10月	
			地域包括ケアシステムとセラピストの管理職としての組織マネジメント(2)			
		組織マネジメント概論(1)	神戸大学大学院 経営学研究科 教授 博士(経営学)	上林雄雄先生	2015年10月	
		組織マネジメント概論(2)				
		組織マネジメント概論(3)				
		組織マネジメント概論(4)				
		臨床実習教育方法論(1)	兵庫医療大学 教授 博士(保健学)	日高正巳先生	2014年9月	
		臨床実習教育方法論(2)				
		臨床実習教育方法論(3)				
		臨床実習教育方法論(4)				
		理学療法士の現状と今後 管理職員の必要性(1)	自由が丘整形外科 事務長	山口剛先生	2015年12月	
		理学療法士の現状と今後 管理職員の必要性(2)				
		理学療法士の現状と今後 管理職員の必要性(3)				
		理学療法士の現状と今後 管理職員の必要性(4)				
		近年の学生の特性に注目した新入教育について(1)	佐藤一朗院 理事長	藤原慶作先生	2015年12月	
近年の学生の特性に注目した新入教育について(2)						
リハビリテーション現場におけるマネージメント これからの組織運営とビジョンの作成	株式会社 互恵会大阪厚生病院 リハビリテーションセンター	森澤一先生	2016年5月			
リハビリテーション現場におけるマネージメント 組織の分析・ミッション・組織目標の作成						
明日から実践～階層別・課題別・機能別管理運営 組織とは	医療法人社団 茨城記念会 茨城記念病院 リハビリテーション課 課長	斉藤秀之先生	2016年12月			
明日から実践～階層別・課題別・機能別管理運営 階層別管理運営の実践						
明日から実践～階層別・課題別・機能別管理運営 機能別管理運営の実践						
リハビリテーションにおけるリスクコミュニケーション リスクとは	株式会社 互恵会大阪厚生病院 リハビリテーションセンター	山元昭彦先生	2017年9月			
リハビリテーションにおけるリスクコミュニケーション リスクコミュニケーション						
シミュレーション練習を用いたリスク管理・対策 リスクの予防と分析	医療法人社団 葛城病院 リハビリテーション部 理学療法課 課長	西川正一郎先生	2017年9月			
シミュレーション練習を用いたリスク管理・対策 リハビリテーションのリスクとは?						
社会と再社会化 再社会化のために必要な支援 ～理学療法士にできること～ 社会と再社会化の理論	エムスリッドカーサポート株式会社 /ニューアップ推進部 リハビリテーション担当部長	大工谷新一先生	2017年12月			
社会と再社会化 再社会化のために必要な支援 ～理学療法士にできること～ 再社会化のための必要な支援(理学療法士にできること)						
診療ガイドラインの基礎知識と活用法 エビデンス・ベスト・ヘルスケアとは	株式会社 普通オールライフ AVC THE PHYSIO STUDIO 京都大学大学院 博士後期課程	藤本裕平先生	2018年5月			
診療ガイドラインの基礎知識と活用法 診療ガイドラインとは						
診療ガイドラインの基礎知識と活用法 診療ガイドラインの活用法						
経業と組織 ～セラピストも知っておくべき「お金」の知識～(1)	株式会社 P-tex 代表	東見哉先生	2015年11月			
経業と組織 ～セラピストも知っておくべき「お金」の知識～(2)						
経業と組織 ～セラピストも知っておくべき「お金」の知識～(3)						
経業と組織 ～セラピストも知っておくべき「お金」の知識～(4)						
平成30年度医療・介護同時改定について これまでの改定と今後のスケジュール これまでの改定の概要 平成30年度医療・介護同時改定の概要 平成30年度医療・介護同時改定から考える今後のリハビリテーション職の役割	社会医療法人 中央会 介護老人保健施設 昭栄ロード	桑山 浩明先生	2018年6月			
婦人科領域疾患に対するリハビリテーション～骨盤底筋機能と臓器について～1	大阪厚生病院 リハビリテーションセンター	森本千保子先生	2017年9月			
婦人科領域疾患に対するリハビリテーション～骨盤底筋機能と臓器について～2						
ウィメンズヘルス 尿失禁に対する骨盤底筋トレーニングの基礎知識	兵庫医療大学 リハビリテーション学部	森村子先生	2017年4月			
ウィメンズヘルス 骨盤底筋トレーニングを管理化する臨床的要素						
骨盤底筋の保存療法:理学療法科との連携を目指して 女性特有症状を診る注意点	株式会社 互恵会大阪厚生病院 婦人科	加藤寛寛先生	2017年7月			
骨盤底筋の保存療法:理学療法科との連携を目指して 骨盤底筋とは						
骨盤底筋の保存療法:理学療法科との連携を目指して 骨盤底筋の保存的治療						
老年症候群の鑑別(介護予防)	日本大学 スポーツ科学部	小松善喜先生	2017年4月			
加齢(ageing)と運動生理学	東邦大学 医学部	室増男先生	2017年4月			
高齢者に対する運動療法の基礎	東京工科大学 医療保健学部	菅原仁先生	2017年4月			
二重課題と運動療法の実践	筑波大学大学院 人間総合科学研究科	山田寛先生	2017年4月			
その他	行動科学	セラピストに必要な行動科学の知識(1)	奈良学園大学 教授	辻下卓弘先生	2014年9月	
		セラピストに必要な行動科学の知識(2)				
		セラピストに必要な行動科学の知識(3)				
		セラピストに必要な行動科学の知識(4)				

医学・薬学関連レッスン公開中 47レッスン

※このレッスンで使用するコンテンツは、「MPラーニング事務局」が所有しており、「MPラーニング運営委員会」の協力により公開しています。

大分類	中分類	小分類	レッスン名	所属・役職	講師名	公開月	
医学・薬学関連レッスン	疾患・治療	精神・神経系	うつ病～疾患編～			2012年1月	
			うつ病～治療編～			2012年1月	
			うつ病～薬学指導～生活の工夫編～			2012年2月	
			脳梗塞～疾患編～			2015年9月	
			脳梗塞～薬物治療編～			2015年9月	
			脳梗塞～薬学・生活指導編～			2015年9月	
			認知症～疾患編～			2014年11月	
			認知症～治療編～			2014年11月	
			認知症～薬学・生活指導編～			2014年11月	
			認知症～介護編～			2014年11月	
			抗不整脈薬の留意点、薬学・生活指導			2010年9月	
			狭心症～疾患編～			2013年5月	
			狭心症～治療編～			2013年5月	
			急性心筋梗塞～疾患編～			2013年5月	
		急性心筋梗塞～治療編～			2013年5月		
		虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)～薬学・生活指導編～			2013年5月		
		慢性心不全～疾患編～			2014年3月		
		慢性心不全～治療編～			2014年3月		
		慢性心不全～薬学・生活指導編～			2014年3月		
		喘息～疾患編～			2010年9月		
		喘息～治療編～			2010年9月		
		喘息～薬学・生活指導編～			2010年9月		
		COPD(慢性閉塞性肺疾患)～疾患編～			2014年6月		
		COPD(慢性閉塞性肺疾患)～治療編～			2014年6月		
		COPD(慢性閉塞性肺疾患)～薬学・生活指導編～			2014年6月		
		喘息&COPD～吸入薬の使い分け(1)～			2014年3月		
		喘息&COPD～吸入薬の使い分け(2)～			2014年3月		
		肝臓～疾患編～			2017年2月		
		肝臓～治療(ウイルス性肝炎)編(1)～			2017年2月		
		肝臓～治療(ウイルス性肝炎)編(2)～			2017年2月		
		痛風と高尿酸血症～疾患編～			2015年10月		
		痛風と高尿酸血症～薬物治療編～			2015年10月		
		痛風と高尿酸血症～薬学・生活指導編～			2015年10月		
		婦人科系			2013年9月		
		腎臓病～疾患編～			2013年10月		
		骨・関節・筋系			2013年10月		
		骨粗鬆症～治療編～			2013年10月		
		骨粗鬆症～薬学・生活指導編～			2013年10月		
		在宅医療	介護保険制度	介護保険制度			2013年8月
				患者説明用 COPD慢性閉塞性肺疾患			2007年3月
				患者説明用 痛風			2007年3月
				患者説明用 膝痛のトラブル			2007年3月
				患者説明用 認知症			2007年3月
				患者説明用 不眠			2007年3月
				患者説明用 うつ病			2008年4月
				患者説明用 関節リウマチ			2008年4月
				患者説明用 検査各論			2007年3月
患者説明用 ガイドラインと検査値					2007年3月		
患者説明用	病状と治療	患者説明用 痛風			2007年3月		
		患者説明用 膝痛のトラブル			2007年3月		
		患者説明用 認知症			2007年3月		
検査	検査	患者説明用 痛風			2007年3月		
		患者説明用 膝痛のトラブル			2007年3月		
		患者説明用 認知症			2007年3月		

理学療法関連公開予定レッスン 3レッスン(セミナー形式)

大分類	中分類	小分類	レッスン名	所属・役職	講師名
(モジュール形式) 運動器分野	運動器分野	運動器	足部・足関節の理学療法 足部足関節の運動学、運動力学的特徴とその評価	大阪河崎リハビリテーション大学	橋本雅至先生
			足部・足関節の理学療法 足部から上行性運動連鎖について歩行動作		
			足部・足関節の理学療法 アプローチに有効なテーピング/インソール療法		